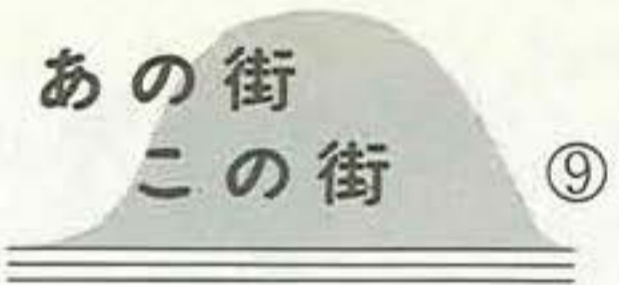


○北国分 (3)

北国分の東部は松戸の字大橋と接していることから大橋境とよばれ、かつて辻切りの行事が盛んだったころには、毎年4日もあるワラの大蛇を作って、境の木に結びつけ、松戸側をにらみつけていたといひます。大橋境の南、堀之内の東側が堀之内下で、その東が留切向、南が弁天下です。ここには樹木に囲まれた池



北国分(3)・東国分

の中に、今も弁天様の祠があります。弁天下の東は関下で、ともに南部は国分7丁目になります。

○東国分

国分川と春木川にはさまれた曾谷町が住居表示で東国分になりました。この地域は南から春木川、桶前、下り松、国分前、大境で、国分小学校は下り松の南西隅に位置しています。